

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
消防本部	地域消防課	消防団係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	09	01	02	11	非常備消防運営に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	85,058千円	177,339千円	180,928千円	0千円
総人件費	21,261千円	22,082千円	22,777千円	
総事業コスト	106,319千円	199,421千円	203,705千円	

事務事業名	02	消防技術向上事業(各種訓練・操法大会)	指標名	訓練参加者数				指標種別	活動結果指標		指標の概要						
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
戦略プラン	-	-	-	5,400人	5,070人	5,070人	5,070人	5,070人	5,070人	5,070人	新分団長及び入団三年未満団員訓練 幹部団員訓練 消防ポンプ操法競技大会 秋季点検 応急手当指導員認定講習及び応急救護訓練						
総合戦略	-	-	-	実績	4,915人	4,930人	-										
個別計画	-	-	-	H27年度				H28年度				その他の指標					
根拠法令等	-	-	-	改善目標	より多くの団員の参加を見込めるように、各種訓練の重要性を団員に周知する。				改善目標	現在実施している訓練内容の充実を図りながら、全団員に対し、機械の操作方法の訓練も取り入れていく。							
事業分類	C	義務的事業	事業計画	新分団長及び入団三年未満団員訓練(約200人参加) 幹部団員訓練(約250人参加) ポンプ操法訓練(5月～10月延べ約3,200人参加) 県南北部地区ポンプ操法競技大会(約120人参加) 秋季点検(約1,000人参加) 応急救護訓練(約240人参加)				事業計画	新分団長及び入団三年未満団員訓練(約200人・5月), 幹部訓練(約250人・6月),ポンプ操法訓練(約3,320人・ 5月～10月),ポンプ操法競技大会(約120人・10月),秋 季点検(約1,000人・11月),応急救護訓練(約240人・通 年)				事業実施 コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
執行体制	職員のみ	活動実績	新分団長及び入団三年未満団員訓練(約200人・5月), 幹部訓練(約250人・6月),ポンプ操法訓練(約3,240人・ 5月～10月),ポンプ操法競技大会(約120人・10月),秋 季点検(約1,000人・11月),応急救護訓練(約240人・通 年)を実施した。				上半期活動実績	-				事業費(A)	12,288千円	12,625千円	13,450千円	0千円	
事業の目的	団員としての基礎知識を修得させ、活動時の迅速かつ安全で正確な動作を身につけるため。		成果	各種訓練を計画通りに実施することができた。また、各種訓練で指導された技術を習得することができた。				上半期成果	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の概要	新分団長及び入団三年未満団員訓練(本部役員の指導),幹部団員訓練(本部役員の指導),消防ポンプ操法競技大会(各支団が5月から10月まで訓練を実施し、県南北部地区ポンプ操法競技大会に参加),秋季点検(各分団詰所及び機械器具の点検等),応急手当指導員認定講習及び応急救護訓練(普通救急講習を受講)		課題	訓練に参加した団員だけでなく、他の団員にも習得した知識を伝えられるような体制を築いていく必要がある。				課題	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
ISO 14001	-	-	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
環境性	-	-	評価	有効性	中:適切な成果が得られている		評価	有効性	-		その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	-	-		効率性	中:適切な費用対効果が得られている			効率性	-		一般財源	12,288千円	12,625千円	13,450千円	0千円		
	-	-		総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-		人件費(B)	7,593千円	8,812千円	8,764千円			
	-	-									正職員	従事割合	1.00人	1.00人	1.00人		
	-	-									時間外勤務	0.00時間	518.00時間	500.00時間			
	-	-									臨時職員等	無	無	無			
	-	-									事業コスト(A+B)	19,881千円	21,437千円	22,214千円			
	-	-									H29年度当初積算根拠	-					
	-	-									H29年度の方向性	-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
消防本部	地域消防課	消防団係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	09	01	02	11	非常備消防運営に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	85,058千円	177,339千円	180,928千円	0千円
総人件費	21,261千円	22,082千円	22,777千円	
総事業コスト	106,319千円	199,421千円	203,705千円	

事務事業名	04 消防出初式事業	指標名	出初式参加人数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	出初式参加人数:1,000人																			
戦略プラン	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度																							
	-		1,000人	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人																							
総合戦略	-	実績	約1,000人	約1,000人	-																											
個別計画	-	H27年度				H28年度				その他の指標	-																					
事業計画	-	改善目標	消防防災に対する決意を新たにし、団員の意識の高揚と団結を図る。				改善目標	全団員が集まる出初式は、団員としての士気を高め、意識の高揚と団結を図る。				事業実施コスト	H26年度決算				H27年度決算				H28年度当初				H29年度当初							
		事業計画	出初式(団員約1,000名)、表彰状授与者(約250名)、観閲式(消防車両55台)、小・中学生防火ポスター表彰(約30名、10月に学校に募集依頼、12月に審査会、出初式で表彰)、つくば鳶職組合によるはしご乗り等。				事業計画	出初式(約1,000名)、永年勤続功労等の表彰及び伝達(約250名)、消防車両による観閲式(車両45台)、小・中学生の防火ポスター表彰(約30名、10月に学校に募集依頼、12月に審査会、1月の出初式で表彰)、つくば鳶職組合によるはしご乗り等					事業費(A)				369千円				488千円				627千円				0千円			
根拠法令等	-	活動実績	出初式(約1,000名・1月)を開催し、団員に永年勤続功労等の表彰(約250名)、消防車両による観閲式(車両45台)、小・中学生の防火ポスター表彰(22名)、女性団員による応急手当指導デモンストレーション、つくば鳶職組合によるはしご乗りを実施した。				活動実績	-				内訳	国庫支出金				0千円				0千円				0千円				0千円			
事業分類	A 任意的事業	成果	出初式の式典にあわせ、応急手当の仕方、観閲式、はしご乗り等を披露することができた。また、表彰者についても漏れなく具申することができた。				成果	-					県支出金				0千円				0千円				0千円				0千円			
執行体制	職員のみ	課題	関係機関と早めに日程調整を行い、会場等の確保を行う。また、表彰該当者を整理しておく必要がある。				課題	-				地方債				0千円				0千円				0千円				0千円				
事業の目的	消防団員としての意識の高揚を図るため。	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	その他特財				0千円				0千円				0千円				0千円						
		評価	有効性	中:適切な成果が得られている				有効性	-				一般財源				369千円				488千円				627千円				0千円			
事業の概要	消防団出初式において、訓示、表彰状等の授与、消防団車両による観閲式を実施する。	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	人件費(B)				3,797千円				3,875千円				3,875千円										
		評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-				内訳	正職員				従事割合				0.50人				0.50人				0.50人		
ISO 14001 関連性	環境性	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	時間外勤務				0.00時間				60.00時間				60.00時間										
		評価	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-				臨時職員等				無				無				無							
										事業コスト(A+B)				4,166千円				4,363千円				4,502千円										
										H29年度当初積算根拠				-				-				-				-						
										H29年度の方向性				-				理由				-										

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	90,093千円	68,621千円	190,298千円	0千円
総人件費	11,390千円	9,657千円	11,142千円	
総事業コスト	101,483千円	78,278千円	201,440千円	

部等名	課等名	係等名
消防本部	地域消防課	施設係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	09	01	03	13	非常備消防施設に要する経費

事務事業名	01 消防水利整備事業				指標名	耐震性貯水槽新設数				指標種別	成果指標	指標の概要	耐震性貯水槽新設								
	戦略プラン	5	1	災害に強いまちづくりの推進	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度							
総合戦略	-	-	-	-	実績	2基	0基	9基	7基	7基	7基	7基	その他の指標	平成26年消火栓新設・改良工事 目標値：12基 実績値：12基 平成27年度消火栓新設・改良工事 目標値：15基							
個別計画	-				改善目標	H27年度 消防水利の基準に基づき、耐震性貯水槽と消火栓をバランス良く設置し、充足率を向上させる。				H28年度 消防水利の基準に基づき、耐震性貯水槽と消火栓をバランスよく設置し整備する。				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初			
根拠法令等	-				事業計画	耐震性貯水槽設置：0基 消火栓設置：15基				耐震性貯水槽：1基 消火栓新設・改良：5基				事業費(A)	41,123千円	26,894千円	133,590千円	0千円			
事業分類	G 建設等事業				活動実績	消火栓設置：15基 消火栓修繕：15基 消火栓以外の水利修繕：4箇所				上半期活動実績				内訳	国庫支出金	2,000千円	0千円	32,316千円	0千円		
執行体制	一部委託				成果	消火活動に必要な消防水利の充実を図ることができた。				上半期成果				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円			
事業の目的	市町村消防施設整備計画に基づき、消火活動に必要な消防水利の充実を図るため。				課題	耐震性貯水槽設置工事について消防防災施設整備費補助金(国庫補助金)を申請したが事業採択されなかったため事業が出来ない。				課題				地方債	14,600千円	0千円	13,100千円	0千円			
事業の概要	火災消火時に必要な消火栓及び耐震性貯水槽の新設工事及び既存施設の維持管理を行う。既存消火栓 2,177基、既存防火水槽 2,061基(平成27年4月1日現在)。				事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	事業コスト(A+B)	48,716千円	32,837千円	141,018千円	その他特財	0千円	0千円	62,170千円	0千円
ISO 14001 環境性	-	-	-	-	評価	有効性	中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-		H29年度当初積算根拠	-	理由	-	一般財源	24,523千円	26,894千円	26,004千円	0千円
						効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-		人件費(B)	7,593千円	5,943千円	7,428千円	正職員	従事割合	1.00人	0.80人	1.00人
						総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-		内訳	時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	臨時職員等	無	無	無

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
消防本部	地域消防課	施設係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	09	01	03	13	非常備消防施設に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	90,093千円	68,621千円	190,298千円	0千円
総人件費	11,390千円	9,657千円	11,142千円	
総事業コスト	101,483千円	78,278千円	201,440千円	

事務事業名	02	消防施設維持整備事業(車庫・詰所等)	指標名	消防車両車庫兼詰所建築数				指標種別	成果指標		指標の概要	消防団詰所建築								
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度										
戦略プラン	-	-	-	2棟	1棟	1棟	2棟	2棟	2棟	2棟	その他の指標	消防団詰所建築 目標値：2箇所 実績値：2箇所								
総合戦略	-	-	-	2棟	1棟	-						事業実施コスト	H26年度決算 H27年度決算 H28年度当初 H29年度当初							
個別計画	-	-	-	H27年度				H28年度					事業費(A)	48,970千円 41,727千円 56,708千円 0千円						
根拠法令等	-	-	-	改善目標	26年度は鉄骨造で建築したが、入札不調が続いたため、木造での建築を予定している。				改善目標	28年度についても詰所の改築工事1箇所及び設計1箇所を実施する。				内訳	国庫支出金	0千円 0千円 0千円 0千円				
				事業計画	消防団車両車庫兼詰所改築工事：1箇所 (谷田部第4分団) 消防団車両車庫兼詰所改築工事の設計：1箇所 (谷田部第6分団)				消防団車両車庫兼詰所改築工事の設計：1箇所 (谷田部第5分団) 消防団車両車庫兼詰所撤去工事：4箇所 (上野,上境,大角豆,上ノ室南)				事業費(B)			3,797千円 3,714千円 3,714千円				
事業分類	F 施設等維持管理事業			活動実績	消防団車両車庫兼詰所改築工事：1箇所 消防団車両車庫兼詰所改築工事の設計：1箇所 消防団車庫及び詰所並びに火の見櫓の撤去：7箇所 消防団車庫及び詰所並びに火の見櫓の修繕：4箇所				上半期活動実績	-				正職員	従事割合	0.50人 0.50人 0.50人				
執行体制	一部委託				成果	老朽化した消防車両車庫兼詰所の改築を実施した。また、詰所の維持管理に努めながら、修繕・改修・撤去工事を実施し、災害時に迅速に消防活動が出来るよう施設の整備が図られた。				上半期成果	-					時間外勤務	0.00時間 0.00時間 0.00時間			
事業の目的	災害発生時に備え、消防自動車の保管場所及び分団員の災害対策拠点として、良好な施設を確保するため。			課題		今年度は1箇所の詰所の改築を行ったが、40年以上経過した詰所も多いため、計画的に改築を行っていく。					課題	-					臨時職員等	無 無 無		
					事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-		目標の進捗状況	-	事業コスト(A+B)	52,767千円 45,441千円 60,422千円					
事業の概要	消防自動車の車庫及び詰所の改築及び維持管理を行う。			評価	有効性 高：成果が向上(高水準を維持)している				評価	有効性 -					H29年度当初積算根拠	理由 -				
					効率性 高：費用対効果が向上(高水準を維持)している					効率性 -										
ISO 14001	-	-	-	総合評価 S：成果・費用対効果を維持して継続実施				総合評価 -				H29年度の方向性 -								

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
消防本部	地域消防課	施設係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	09	01	03	14	非常備消防車両に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	22,445千円	66,542千円	53,658千円	0千円
総人件費	3,797千円	7,428千円	3,714千円	
総事業コスト	26,242千円	73,970千円	57,372千円	

事務事業名		01 消防車両管理運営事業		指標名	消防ポンプ自動車購入台数				指標種別	成果指標	指標の概要	消防団で使用する消防ポンプ自動車				
戦略プラン		-		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度						H32年度
総合戦略		2 1 災害に強いまちづくりの推進		実績	1台	2台	2台					その他の指標	消防自動車車検及び維持管理			
個別計画		-		H27年度				H28年度								
根拠法令等		-		改善目標	災害時に迅速に対応するため、最新鋭の消防ポンプ自動車に更新していく。修理が必要な消防車両については、活動に支障がでないよう早急に修理をしていく。				改善目標	災害時に迅速に対応するため、最新鋭の消防ポンプ自動車に更新する。修理が必要な消防車両については、活動に支障がでないよう早急に修理を行う。						
事業分類		F 施設等維持管理事業		事業計画	消防団用消防ポンプ自動車：2台購入 消防車両車検：31台				事業計画	消防団用消防ポンプ自動車：2台購入 (大穂支団第3分団：要地区，桜支団第8分団：下広岡地区) 消防車両車検：31台						
執行体制		一部委託		活動実績	消防団用消防ポンプ自動車：2台納車 消防車両点検：30台				上半期活動実績	-						
事業の目的		災害時に消防自動車を有効に活用し、市民の安全で安心なまちづくりを推進するため。		成果	災害時に迅速に対応するため最新鋭の消防ポンプ自動車に更新し、車検及び修理をして維持管理に努め活動に支障が出ないようにした。				上半期成果	-						
事業の概要		消防ポンプ自動車の新規購入及び既存の消防自動車の維持管理を行う。		課題	消防自動車購入後20年以上経過した車両も多く、故障による修理が多くなっている。消防車両更新計画に基づき計画的に整備を図っていく。				課題	-						
ISO 14001 環境性		その他		事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	H29年度当初積算根拠	理由			
ISO 14001 環境性		-		評価	有効性	中：適切な成果が得られている	評価	有効性	-	評価	効率性					
ISO 14001 環境性		-		評価	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		評価	総合評価	-	理由	-				

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
事業費(A)	22,445千円	66,542千円	53,658千円	0千円
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
地方債	14,800千円	29,900千円	31,600千円	0千円
その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
一般財源	7,645千円	36,642千円	22,058千円	0千円
人件費(B)	3,797千円	7,428千円	3,714千円	
正職員	従事割合	0.50人	1.00人	0.50人
正職員	時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間
臨時職員等		無	無	無
事業コスト(A+B)	26,242千円	73,970千円	57,372千円	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
消防本部	地域消防課	消防団係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	09	01	04	11	水防訓練に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	3,279千円	3,324千円	2,970千円	0千円
総人件費	1,519千円	2,430千円	1,513千円	
総事業コスト	4,798千円	5,754千円	4,483千円	

事務事業名	01 水防訓練(水害対策)事業				指標名	訓練参加者数				指標種別	活動結果指標				指標の概要			
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	利根川水系県南水防事務組合水防訓練 鬼怒・小貝水防連合体水防訓練 谷田部地区水防倉庫の改築					
戦略プラン	-	-	-	-	80人	80人	80人	80人	80人	80人	80人	80人						
総合戦略	-	-	-	-	実績	66人	182人	-					その他の指標 -					
個別計画					改善目標	H27年度 各種水防工法は、従来の工法が多いため、新しい工法の訓練も取り入れていく。				改善目標	H28年度 水防に直接関係しない支団についても、水防工法を習得させ、全支団で緊急時に備える。							
根拠法令等	水防法				事業計画	利根川水系県南水防事務組合、稲敷地方広域市町村圏事務組合、常総広域市町村圏事務組合の三組合による水防訓練(5月実施予定) 第56回鬼怒・小貝水防連合体水防訓練(7月つくば市で実施予定) 荳崎地区水防倉庫の改築				事業計画	利根川水系連合・総合水防演習に参加(5月に取手市で実施予定) 鬼怒・小貝水防連合体水防訓練に参加(7月に八千代町で実施予定)							
事業分類	C 義務的事業				活動実績	利根川水系県南水防事務組合、稲敷地方広域市町村圏事務組合、常総広域市町村圏事務組合の合同による水防訓練を5月24日に取手市で実施した。 鬼怒・小貝水防連合体水防訓練を7月5日につくば市で実施した。 1月末、荳崎地区水防倉庫の改築を実施した。				上半期活動実績								
執行体制	職員のみ				成果	利根川水系水防訓練に参加し、水防工法技術を習得した。また、鬼怒・小貝水防連合体水防訓練を、つくば市が当番市として円滑な運営で開催することができた。さらに新しい水防工法技術を取り入れ、水防工法技術を習得することができた。				上半期成果								
事業の目的	水害時に、安全に迅速かつ的確な行動がとれるようにするため。				課題	訓練に参加した団員だけでなく、他の団員にも習得した水防工法技術や知識を伝えられるような体制を築いていく必要がある。				課題								
事業の概要	水防訓練への参加及び水防団体との連絡調整を行う。				事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-						
ISO 14001	-	-	-	-	評価	有効性	中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-							
環境連関性	-	-	-	-	評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている		評価	効率性	-							
	-	-	-	-	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-		-		H29年度当初積算根拠	-	理由	-		
事業実施コスト		H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初													
事業費(A)		3,279千円	3,324千円	2,970千円	0千円													
内訳																		
国庫支出金		0千円	0千円	0千円	0千円													
県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円													
地方債		0千円	0千円	0千円	0千円													
その他特財		0千円	0千円	0千円	0千円													
一般財源		3,279千円	3,324千円	2,970千円	0千円													
人件費(B)		1,519千円	2,430千円	1,513千円														
正職員		従事割合	0.20人	0.30人	0.20人													
時間外勤務		0.00時間	75.00時間	10.00時間														
臨時職員等		無	無	無														
事業コスト(A+B)		4,798千円	5,754千円	4,483千円														
H29年度当初積算根拠																		